



土木・建築の視点から

倉敷のはじまり

倉敷は、どのように始まり、形づくられてきたのでしょうか。
本講座では、これまであまり言及されてこなかった土木・建築の視点から、
倉敷の成立過程を「建設史」として読み解きます。

日時

令和8年3月21日(土) 14:00~15:30

場所

倉敷市立中央図書館 3階 研修室

定員

20名(先着順)

参加費

無料

申込み

3月5日(木) 9:00~ 電話可



講師

山口 晋作 氏 (倉敷建築工房 山口晋作設計室)

1975年下津井生まれ、児島にて建築設計事務所主宰。1996年高松高専土木工学科卒、2002年豊橋技科大大学院修了。2009年倉敷建築工房 檜村徹設計室を経て独立。2025年倉敷市「建築文化賞」受賞。KURASiX(倉敷にある6設計事務所の活動体)メンバー。

講師より:

倉敷に事務所を構える6つの設計事務所による活動体「KURASiX」は、令和7年3月に「倉敷あるくー水との関わりから読み解く、倉敷村の成り立ち」を開催しました。この企画では、高梁川と瀬戸内海という二つの水の流れが交わる倉敷村に着目し、その成立の背景を実際にまちを歩きながら学びました。今回の講座は、その延長線上に位置づけられるものです。

※当日は、駐車場の混雑が予想されます。時間に余裕を持ってお越しください。
お問い合わせ: 倉敷市立中央図書館 電話 (086) 425-6030